

給食に思いを込めて——

ちょうりじょうゆうびん 3月の予定献立表 —おらほの食材—

米・こまつな・キャベツ・くきたち・大豆・白菜・
青畑豆・打ち豆・いちご・わらび・納豆・みそなど

日	曜日	料理名
1	水	パンズパン、牛乳、白身魚フライ、タルタルソース、せんキャベツ、ミネストローネ、スライスチーズ(中学のみ)
2	木	ごはん、牛乳、鶏のから揚げ、大豆入りひじき煮、緑黄色野菜のみそ汁
3	金	ひな祭り献立：ちらしずし、牛乳、厚焼き玉子、青菜のお浸し、春雨のすまし汁、三色花ゼリー
6	月	麺の日：担々麺、牛乳、棒餃子、ツナとほうれん草のごまサラダ、卒業祝い手作りデザート(中学3年生のみ)
7	火	ごはん、牛乳、いかの揚げ煮、切り干し大根煮、わらび汁、白鷹産大豆の納豆
8	水	山形県産米粉食パン、牛乳、ハンバーグ森のソースかけ、コールスローサラダ、コンソメスープ
9	木	ポークカレー、牛乳、さっくりメンチカツ、スパゲティサラダ
10	金	ごはん、牛乳、そぼろどんぶり、中華サラダ、じゃがいもの味噌汁、いちご(中学のみ)
13	月	ごはん、牛乳、さばササ焼き、カミカミサラダ、豆腐のみそ汁、アセロラゼリー(中学のみ)、いちご(荒砥・東根小のみ)

早いもので、今年度の給食も残りわずかとなりました。中学3年生にとっては、9年間の学校給食からも卒業です。給食を通して学んだ事を思い出しながら、今後の食生活をより良いものにしてほしいと思います。調理場では3月6日に、中学校の3年生を対象に卒業お祝いデザートを提供します。心を込めて作った「ペークドチーズケーキ」をお届けします。また、人気メニューも随所に取り入れ、今年度の給食を締めくくりたいと思います。

『食べることは生きること』

これからも子どもたちひとりひとりが、生きる上で最も大切な「食べる」ことをおろそかにせず、卒業後も健康でいきいきと素晴らしい未来に向かってしっかり歩んでくれることを願います。

14	火	ごはん、牛乳、鶏肉のレモン漬け、海藻サラダ、小松菜のみそ汁、町のお菓子屋さんの桜餅
15	水	山形県産米粉コッペパン、牛乳、野菜カレーコロッケ、チーズインサラダ、ウインナースープ、キャラメルクリーム(中学のみ)
16	木	小学校のみ：ごはん、牛乳、マーボー豆腐、野菜のからしあえ、わかめスープ
17	金	小学校のみ：ごはん、牛乳、めばるの塩麴から揚げ、五目豆、厚揚げのみそ汁、いちご(蚕桑・鮎貝小のみ)

※この他、毎日牛乳が1本付きます。

※材料の都合により、献立を変更する場合があります。

※児童・生徒のご家庭には事前に配布しています。また、町のHPにも掲載していますのでそちらもあわせてご覧ください。

※材料調整や手配の都合上、この時期の掲載となります。

ご了承ください。

各年次「探究課題発表会」を実施

今年度の「探究課題発表会」を、3年次は12月22日(木)、2年次は1月19日(木)、1年次は2月9日(木)に行いました。各年次とも、自分が関心を持っているテーマを調べ、考察し、工夫を凝らしてまとめ、ICTを駆使して発表しました。発表に対して活発に質問が飛び交うなど、活気あふれる発表会となりました。2年次の発表会の様子は、山形新聞に掲載されました。



写真は3年次生の発表会の様子



2年次生「緊急時炊き出し体験」2月9日(木)

防災教育の一環として、10年以上前から本校で実施している「緊急時炊き出し体験授業」が2年生を対象に行われました。白鷹町赤十字奉仕団「こぶし会」の皆さまにご協力いただき、ビニール袋で米を炊く方法を学びました。

地震や豪雨などの災害時に役立つ良い訓練となり、貴重な体験となりました。「こぶし会」の皆さま、ありがとうございました！



荒高掲示板

「探究課題発表会」
「緊急時炊き出し体験」
を実施！

地域の皆さんとの関わり合いが私の原動力です！

縁

もゆかりもない白鷹町に移住してきて、最初は不安も少なからずありましたが、地域の皆さまに温かく迎えていただいたり、声をかけていただいたりを、本当に嬉しく思いながら生活してきました。日々の活動に取り組み一番の原動力は、間違いなく、地域の皆様とのひとつひとつの関わり合いです。私は今年6月に3年間の任期が満了となり、地域おこし協力隊を退任します。もう3年経つか、というのが驚きで、時の流れの早さが恐ろしいです。それだけ1日1日が楽しく、充実した毎日だったのかな、と感じています。

十王地区では、山峡紅の里に勤務させていただき、紅花関連の活動をしています。紅花生産・紅餅作り・商品開発などです。紅花生産は紅花プロジェクトと産業環境部会の2部会が活動しています。世界農業遺産認証も近々と思うと、紅花への期待もさらに大きくなります。山峡紅

の里では紅餅作り研修を行い、古来からの技術の伝承も部会メンバーに広めています。また、紅花は全てが活用できるので、今回は薬効のある若菜で調味塩を作り、十王地区の方々に販売しました。そして、綿花・藍の生産もさせていただいています。実ったコットンボールから糸を紡ぎ、染織します。心がこもった手織りならではの風合いがあります。白鷹町で誕生してくれた赤ちゃんに紅花染めの優しいおくるみや、米寿の方にお祝いとして紅花染めの温かいひざ掛けをプレゼント出来たらいいなあ、そんなことを考えています。



▲紅餅制作の様子



▲紅花畑（山峡紅の里裏）

畑を覆っていた雪が解けると、土が乾き次第耕起が始まり、徐々に忙しくなりそうです。

町報川柳 — 灯 —

お祭灯 <small>まつまつり</small> 夜空に赤く厄落し	高玉 橋本つね子
鮎貝駅百年の歴史に火を灯す	荒砥乙 木口 とよ
仏前に灯りを灯し対話する	高玉 高橋 朝子
暗い世にイルミネーション灯りさす	十王 松野いせ子
灯は消さぬぞアンチエイジング	鮎貝 植木 英夫
命灯の消えゆく刻にありがとう	箕和田 土屋 平敏
人よりもすすんで心灯を	箕和田 土屋 敏子
灯をともし孫の笑顔とやさしさが	浅立 梅津美千子
人生に灯を呉れた友居ない	十王 守谷 勝助
人の愛心に灯る春の詩	菖蒲 小関 弘
夜霧煙り街灯ゆらぐ過疎の町	坂戸市 安達 功
ヤハイ口ふる里の灯りを思い出す	世田谷区 遠藤 八重
灯明 <small>とうみょう</small> に手を合わす母丸くなる	高岡 安部 健一
停電で灯りがついた有難さ	佐野原 竹田 正子
命の灯百までも力のかぎり生きぬくぞ	広野 新野智耶子
若者よ親族の灯を消さないで	畔藤 安達 次男
八十路坂灯し火消さぬ夫婦道	荒砥乙 保科 努
省エネで我家の灯早く消え	山口 石川與次衛門

次回「重」三月二十五日まで／「立」四月二十五日まで（※作品には、ふりがなを振ってください）
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛